広資料第１０２号
令和５年９月２６日
企画財政部企画政策課
市民情報提供資料

指定管理業務総括評価票一覧《令和４年度》について

このことについて、本市では、指定管理者制度を導入した施設（以下「制度導入施設」という。）における管理の適正を期するため、指定管理者制度導入施設におけるモニタリングに関する指針（平成２０年３月２１日市長決裁）に基づき、全ての制度導入施設において所定のモニタリングを実施しているところです。

この度、各制度導入施設における令和４年度の管理状況を評価した指定管理業務総括評価票の内容について、別紙のとおり一覧に取りまとめましたのでお知らせします。

指定管理業務総括評価票一覧《令和4年度》

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																						3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		
			事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	外部委託事業者に対して協定書等を遵守させている。	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	個人情報保護に関する規程が整備されている。	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	情報公開に関する規程が整備されている。	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	業務日誌等を適切に整備、保管している。	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	業務の実施体制に関する評価	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	利用者数、稼働率等は、適正な水準にある。	前回の評価を受けて、適切な改善が図られたか。	業務の内容・水準に関する評価	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	経費が縮減され、又はその縮減に向けた努力を行っている。	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	経費の収支等に関する評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」の総合評価	
—	—	—																																															A(優　良)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良　好)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準におおむね沿った管理内容である。 C(課題含・多)＝協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。 D(要改善)＝協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。
1	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 地域包括支援センター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	協定書に基づき、業務を実施した。今後も法令・条例を遵守し、適切に事業運営を行い、更なる地域福祉の発展に努めていく。 また、行政や医療・介護機関、市民等と連携し、地域包括ケアシステムの構築を進めていく。
			法令等を遵守し、事業を実施した。また、協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。																			新型コロナウイルス感染症の感染予防に留意しながら介護予防教室や権利擁護に関する講演会、介護者交流会、オレンジカフェ等を開催した。 また、新たに大型商業施設を会場とした介護予防教室も開催した。 包括の広報として、SNSでの発信を行ったほか、たよりを隔月で発行し関係機関や市民へ配布した。																												適切に執行した。						
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 (高齢福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業の内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり、運営上の問題はない。 また、収支等についても特に指摘するところはなく、適正に執行していると考える。
			特に問題なく、適切に取り組んだ。																			特に問題なく、適切に取り組んだ。																						特に問題なく、適切に取り組んだ。						
2	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 身体障害者福祉センター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	新型コロナウイルス感染症の陽性者及び濃厚接触者の発生時は、迅速に市と情報共有し、拡大防止に努めながら運営を行った。
			新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、十分配慮しながら運営を行った。																			利用者支援に関する課題についてはその都度協議し、細かな対応を行った。																						適切な事務を執行した。						
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 (障害福祉課)	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	医療的ケアが必要な利用者や重度化する身体障害のある利用者に対応できる体制を確保するために必要な感染予防策を継続し、質の高いデイサービスの提供ができており、運営上の問題はない。 令和4年度には、ウィズコロナにおいて、音楽療法による訓練を復活させることができた。今後、調理実習や地域探索行事などを順次復活させ、利用者の要望等に更に応えてくれることを期待したい。
			常に不足のない職員体制を確保し、業務継続ができており、おおむね良好である。																			徹底した新型コロナウイルス感染症の感染予防策を継続し、利用者に寄り添ったデイサービス事業の運営ができており、良好であった。																						特に問題はなく、良好であった。						

評価区分:
A＝優良
B＝良好
C＝課題含・多
D＝要改善

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																								3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
3	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 障害者地域自立生活支援センター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	A	A	B	ー	ー	B	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	法令・協定書に従い、事業運営を行った。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮し、参加者の安全対策を行った上で事業を実施した。 経費削減に向けて努力した。
			法令・条例を遵守し、事業を実施した。 緊急時マニュアルの見直しを行った。																			事業計画書に即し、事業運営を行った。 利用者アンケートを実施して精査している。																					経費削減に努めている。							
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 (障害福祉課)	A	A	B	ー	ー	B	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	ー	B	B	B	B	B	B	B	B	職員体制を強化し、利用者も含め新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ業務が継続できており、相談対応件数が16．7%増加した点を評価した。 母体である武蔵村山市社会福祉協議会において個人情報保護に関する規程を整備し、個人情報の保護を強化した点についても評価した。 書面による利用者満足度アンケートの結果を分析し、今後の業務の更なる充実につながることを期待する。
			職員体制を強化し、相談体制の充実を図っていた。 規定の整備により個人情報の保護を強化していた。																			令和4年11月から令和5年2月までにかけて実施した利用者満足度アンケートの結果を分析し、今後の事業方針等を検討していた。 相談対応件数は令和4年度が8，554件となり、令和3年度の7，336件に対し1，218件、16．7%の増加となった。																					おおむね良好である。							
4	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 訪問看護ステーション 【指定管理者】 一般社団法人武蔵村山市医師会	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	職員の退職もあり人員の確保が難しく、収益が減少した。職員の負担は増加している。 新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中でも、感染対策を講じ感染拡大を防止することができた。 次年度の課題として、職員の確保や新規利用者の受入れ、災害時のBCP作成を行いたい。
			常勤換算で4人の職員を確保している。 協定書に従い書類の整備及び個人情報の管理を実施した。 事故災害等の緊急連絡体制については、定期的に見直しを図っている。 施設内の防災訓練にも参加・協力している。																			維持管理については、衛生管理及び整理整頓を行っており、省エネ・省資源についても職員に周知している。 利用者からの苦情対応については、迅速に対応し、職員間でカンファレンスを実施している。 利用者アンケートは毎年実施しており、実施後は回答内容について検討会を行っている。																					毎月、会計士及び医師会担当理事による確認がされており、問題なく実施されている。							
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 (高齢福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり、運営上の問題はない。 従事者に、新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生する時期もあったが、利用者へのサービスの質は維持していた。
			特に問題はなく、良好である。																			適切に管理等ができており、特に問題はない。																					適正である。							

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																							3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
5	【施設名】 武蔵村山市民総合センター ボランティア・市民活動センター 【指定管理者】 特定非営利活動法人むさしむらやま子ども劇場	自己評価 (指定管理者)	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	A	A	B	B	A	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	法令に従い必要な人員で運営している。 また、職員の退職等に伴い、必要な資格を持つ職員を採用するとともに、年間約40回の研修を実施し、職員の専門知識の習得や新たな資格の取得に努めた。	コロナ禍3年目の運営で、オンラインから対面でのコミュニティの場に徐々にシフトしながら、講座、ワークショップ、座談会及び市民活動見本市(元気フェスタ)を連続的に開催した。 広報紙の内容の拡充及びホームページのリニューアルを行うことで、市民活動の閲覧性を高めた。 また、施設の利用者数は令和3年度の1．67倍となり、利用率も日中の時間帯の比較では38．8%から46．6%に増加し大幅に改善された。	物価高騰による支出の増加を最小限に抑えるとともに、事業収入を増加させる努力を続けている。	B	コロナ禍において60回を超える講座やワークショップ、座談会、市民活動見本市などを開催し、ボランティア・市民活動を継続的に支援した。 職員の退職が続き、マンパワーの低下も懸念されたが、積極的に講座・研修を行うとともに、職務分掌の確立により業務の内製化及び非属人化を図ることで、効率的な運営に努めた。
	【所管部課】 協働推進部協働推進課	所管評価 (協働推進課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	各項目おおむね適切な管理運営を行っていた。 ベテラン職員の退職等があり人員体制も心配されたが、新たな人材を採用し、積極的に研修を実施し、職務の見直しをする等努力の跡が伺える。 令和3年度は収支決算が赤字であったことから、令和4年度は支出を抑え、事業収入を増加させる等の努力により黒字となったことは評価できる。 今後も随時見直しをしつつ、ボランティア・市民活動団体の活動意欲の向上を図れるよう、また、互いに交流を促進できるよう努められたい。
6	【施設名】 武蔵村山市立緑が丘高齢者サービスセンター 高齢者在宅サービスセンター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山正徳会	自己評価 (指定管理者)	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	—	A	A	A	A	B	A	A	令和4年度も感染症対策を徹底しての1年であった。施設、利用者、関係者等の協力があり大きな感染拡大もなく1年を終えることができた。 設備や備品に関しては、経年による劣化もあり修繕等が必要な状況が続いているが、市と協議しながらサービスに影響のないように対応している。今後も何かあった際にはお願いしたい。 稼働状況は、コロナ禍にもかかわらず多くの利用があり、時期によっては利用まで待ってもらう状況である。
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 (高齢福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり、運営上の問題はない。 収支等についても特に指摘するところはなく、適正に行っていると考える。

	1 総括	2 総括	3 総括
5 自己評価	法令に従い必要な人員で運営している。 また、職員の退職等に伴い、必要な資格を持つ職員を採用するとともに、年間約40回の研修を実施し、職員の専門知識の習得や新たな資格の取得に努めた。	コロナ禍3年目の運営で、オンラインから対面でのコミュニティの場に徐々にシフトしながら、講座、ワークショップ、座談会及び市民活動見本市(元気フェスタ)を連続的に開催した。 広報紙の内容の拡充及びホームページのリニューアルを行うことで、市民活動の閲覧性を高めた。 また、施設の利用者数は令和3年度の1．67倍となり、利用率も日中の時間帯の比較では38．8%から46．6%に増加し大幅に改善された。	物価高騰による支出の増加を最小限に抑えるとともに、事業収入を増加させる努力を続けている。
5 所管評価	ベテラン職員の退職により適正な人員体制の維持が危惧されたものの、新たに必要な資格を持つ職員の採用などにより対応するとともに、積極的に研修を実施し、実務にフィードバックする姿勢が評価できる。	各項目おおむね適切な管理運営を行っていた。 コロナ禍でありながら、状況を見て対面によるイベントや講座を増やし、市民活動の意欲を向上させようとする姿勢は評価できる。	事務費の支出が増加したものの、事業費の支出を抑えるなどの工夫が見られ評価できる。
6 自己評価	現状において人員は確保できているが、欠勤や人員不足が発生した際、新たな人員の確保までの時間が掛かりすぎてしまい、職員への負担になっている。	令和3年度に引き続き、施設・利用者ともに新型コロナウイルス感染症に注意し、以前のような生活リズムに戻しながらサービスの提供(利用)を行うことができ、大きな事故もなく運営できている。	財務的には安定した運営が行えている。
6 所管評価	特に問題はなく、良好である。	適切に管理等ができており、特に問題はない。	適正である。

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
7	【施設名】 武蔵村山市立緑が丘高齢者サービスセンター 地域包括支援センター 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山正徳会	自己評価 (指定管理者)	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	A	B	A	B	A	B	A	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	B	B	A	A	A	A	B	—	B	A	A	B	A	A	A	法令・協定書に基づき業務遂行した。 地域のネットワークをいかし、支援を必要とする高齢者の早期発見・介入に努めた。 民生委員や自治会などは高齢化により機能が低下したり欠員が出たりしている地区もあるので、新たなネットワーク構築が課題となっている。
			職員の定着が課題であるが、必要な資格者を不足なく配置できた。																			協定書等に従い、施設を開所した。 複数の職員が新型コロナウイルス感染症に感染した際は、市の業務継続計画に則り業務を遂行した。 利用者アンケートの結果や苦情・意見を参考に、相談してもらいやすい対応や環境作りを心掛けた。																											適切に執行した。						
	【所管部課】 健康福祉部高齢福祉課	所管評価 (高齢福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	実施体制、事業の内容及び水準については、協定書等の条件を満たすものであり、運営上の問題はない。 また、収支等についても特に指摘するところはなく、適正に執行していると考える。
			特に問題はなく、適切に取り組んだ。																			特に問題はなく、適切に取り組んだ。																									特に問題はなく、適切に取り組んだ。						
8	【施設名】 武蔵村山市立のぞみ福祉園 【指定管理者】 社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会	自己評価 (指定管理者)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	協定書及び仕様書を遵守し、利用者や市民に対する福祉サービスの向上を意識しながら業務に当たった。 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、利用者の登園前検温や職員の出勤前検温、マスク着用、手指消毒の徹底を行った。 市の感染拡大防止対策推進事業の補助金を活用し、利用者及び職員に対しPCR検査を実施した。また、職員を対象に東京都の集中的検査事業を利用し抗原検査を実施した。 利用者及び職員が新型コロナウイルス感染症に感染した場合には、感染拡大防止の措置としてその都度市と協議しながら園全体で在宅支援を提供して運営した。また、接触のあった利用者及び職員を対象にPCR検査を実施した。 ※在宅支援の提供日数は4月～11月の間の計11日となった。 コロナ禍のため、感染防止対策を十分に図り、デエダラまつりや体育館まつり、福祉のつどいに出店した。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした宿泊実習の代替行事として、令和5年1月13日、20日及び28日に木下大サーカスの観覧を実施した。 地域交流を目的とし、令和5年3月11日に開催予定であった「のぞみまつり」については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。その代替行事として、同年3月8日及び9日に利用者を対象とした出張いちご狩りを実施した。 毎月一回、地域交流の一環として自主生産品の販売をこども食堂で実施した。
			適正な運営体制を整えて事業の実施に当たった。																			事業計画に基づき、福祉サービスの向上に努めた。																									法人内で毎月会計検査を受け、適切に処理している。						
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 (障害福祉課)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	協定書及び仕様書を遵守し、適切に管理運営が行われている。利用者の健康管理のため、嘱託医による健康診断と看護師による血圧・身体測定を年4回実施し、また、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、利用者の登園前検温や職員の出勤前検温、マスク着用、手指消毒の徹底を行い、PCR検査を年8回行ったことなどを評価したい。 また、令和4年度は感染防止対策を十分に図り、デエダラまつりや体育館まつり、福祉のつどいに出店したが、今後も適正な園の運営を実施されたい。
			関係法令を遵守し、適正な体制を整えられている。																			事業計画に基づき、適切に事業を実施している。																									適正な会計処理が行われている。						

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
9	【施設名】 武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター （緑が丘コミュニティセンター・男女共同参画センター・第一老人福祉館） 【指定管理者】 株式会社シーズプレイス・東建社グループ	自己評価 （指定管理者）	A	B	A	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	A	B	A	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	A	A	B	B	A	A	A	B	B	B	—	A	B	B	B	B	B	B	B	事業遂行も管理運営もおおむね適正に執行できた。 男女共同参画啓発においては特にパネル展示に力を入れ、チームを組んで制作に取り組んだ。パネル前で話題にしている人も多く、定期的に行うことで来館者の関心を集めている。 1年間取り組んできた0歳児親子の会では終了後、自主サークルの発足につなげた。一方、男性対象の講座の集客が難しく、来年度の課題として工夫して取り組みたい。
			令和4年度はおおむね当初の計画どおり事業を執行できた。 女性のエンパワーメントを目的とした講座にもようやく着手できたため、次年度以降は内容をブラッシュアップし、力を入れていきたい。 大学生インターンを9名受け入れ、人材育成に取り組んだ。																			利用者数も増え、施設使用料もおおむねコロナ禍以前の数字に戻りつつある。 利用者からは、清掃が行き届いており、窓口対応も感じが良いと好評である。																			光熱費の大幅な値上りがあったが、その他においては適正に執行した。						
	【所管部課】 協働推進部協働推進課	所管評価 （協働推進課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	各項目おおむね適正な事業運営を行っていた。 男女共同参画啓発については、SNSやホームページ、情報誌等を駆使し、また、パネル展等の情報発信にも力を入れて取り組み、利用者等の関心を集めることができた。 今後も市民が利用しやすい事業運営を推進しつつ、第四次男女共同参画計画に掲げる各事業に積極的に取り組み、男女共同参画の推進に努められたい。
			各種書類、人員体制も整っており、おおむね適正な実施体制であった。																			施設管理について、おおむね適正に管理されており、利用者への対応についても過不足なく対応されている。																			おおむね適切な予算執行がなされている。						
10	【施設名】 武蔵村山市立温泉施設 【指定管理者】 株式会社オーエンス	自己評価 （指定管理者）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	新型コロナウイルス感染症対策の緩和により風呂、サウナ及びプールは通常営業となり、令和4年9月以降は水泳教室や多目的ルームでの教室も再開できた。 館内に設置してある意見箱や清掃員、フロントに上がる声、要望を可能な限り取り入れ、利用者の満足度向上に取り組んだ。 令和5年3月31日をもって閉館ということで、利用者から惜しまれつつ大きな混乱もなく終了できた。
			繁忙期を含め、適正な人員配置により運営できた。 また、マルチジョブとして時間帯により人員を厚く配置したい部署に別の部署の人員を一時的に配置した。																			利用者対応、施設維持管理に関して水準に沿った運営を行った。 新型コロナウイルス感染症の感染対策により、計画していた集客イベントの開催が難しい状況であった。																			適切な財務会計報告を実施した。						
	【所管部課】 協働推進部産業観光課	所管評価 （産業観光課）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	原油価格の高騰等により維持管理に係る光熱水費の負担増が著しく、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴う利用者の増加による収入増だけでは賄いきれなかったが、決算の収支は事業計画の収支を上回ることとなった点は一定の評価ができる。 他方、事業の実績に関し、施設サービスの提供水準を向上させるために早期の自主事業の再開や、配置業務以外の業務への応援体制の構築などに積極的に取り組んでもらいたかった。
			人員体制の都合により昼食時の食堂スペースが有効に利用されていない状況等もあった。																			自主事業については、ごく一部が下半期に実施できただけで、休館や時間短縮営業もなかったことから、事業計画に即した事業運営に努め、施設サービスの向上を図る必要があった。																			原油価格の高騰等により維持管理経費が増大し、利用者数の増加に伴う収入増があっても難しい状況であった。						

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																									3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分： A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
11	【施設名】 武蔵村山市総合体育館及び体育施設（野山北公園プール外7施設） 【指定管理者】 フクシ・オーエンス共同事業体	自己評価 （指定管理者）	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	C	A	A	A	A	A	A	—	B	A	A	A	B	A	A	新型コロナウイルス感染症の感染予防に留意した上で、法令等を遵守し事業を実施した。 また、協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	法令・条例を遵守するだけではなく、サービスの向上や利用者数の増加を常に意識した運営を心掛けている。 修繕について、職員用ドアの故障で報告が遅くなり、警備体制に影響を及ぼした。修繕に時間を要したため、今後は早急に対応していきたい。	コロナ禍で収入、支出とも予算未達となった。	A	指定管理期間5年間の5年目に当たる令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防策を講じながら、閉鎖や時間短縮することなく開館することができた。 収支面では、予算書と比較すると利用者数や収入が目標や予算を下回る結果となった。特に光熱水費の高騰が目立つため、節電、節水を心掛けていきたい。 施設面では、雷塚野球場の近隣住宅と飛球トラブルが相次いだため、市により防球フェンス工事を実施した。 また、施設老朽化により冷房設備が一部故障することがあったが、迅速に対応した。 今後も利用者や市民のニーズを捉え、より多くの市民にとって充実したサービスを提供できるような施設運営を目指していきたい。
	【所管部課】 教育部スポーツ振興課	所管評価 （スポーツ振興課）	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	B	A	B	A	A	B	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	B	A	A	C	A	A	A	A	A	B	—	B	A	A	B	B	B	B	おおむね協定書、事業計画書等に沿った管理内容である。 しかし、月次報告書等の誤表記があり、修正を要するケースが見受けられたため、確認作業を徹底するなど改善を求める。	おおむね、協定書、事業計画書等に沿った内容であった。 修繕に関して、ドアの故障についての市への報告が遅れ、一定期間施設の警備体制に影響を及ぼす事態が生じたため、今後改善を求める。	おおむね適切であった。	B	おおむね基本協定書及び事業計画書の内容に沿った施設運営がなされていると評価できる。 今後も、施設の安全管理及び事業の充実を図り、利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛けながら、総合体育館を中心に市のスポーツ振興に寄与されたい。
12	【施設名】 武蔵村山市民会館 【指定管理者】 株式会社ケイミックスパブリックビジネス	自己評価 （指定管理者）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	常勤職員、窓口スタッフ、外部委託（舞台、設備、清掃）は事業計画書に即した体制で、法令・条例・協定書に基づき適切な運営に努めた。	協定書及び仕様書に従い適切に運営した。 また、事業についても一部新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、計画書に即した内容で実施した。 利用者の利便性と省エネを考慮して運営し、記録等の管理も適切に行った。	光熱水費の高騰によるマイナス要素はあったものの、その他の経費の削減や利用料金の増収により収支の改善に努めた。	B	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により利用定員の制限や、イベント開催時における収容定員や、声出し、歌唱などの制限も段階的に緩和され、徐々に回復の兆しが見受けられるようになった。これに伴い、徐々に従来の形で事業を行うことができるようになり、引き続き感染対策を徹底した上で、ポピュラー、演劇、民族楽器、落語公園等、多様なジャンルの鑑賞事業を開催した。 また、財政面ではエネルギー価格の高騰により光熱水費が大幅な予算超過となったが、利用料金の増収、省エネ対策及び経費の削減により収支全体では改善に努めた。
	【所管部課】 教育部文化振興課	所管評価 （文化振興課）	A	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	B	A	B	B	A	A	A	B	B	B	A	A	A	A	B	A	A	A	B	B	—	B	B	B	A	B	B	B	事業計画書及び市の指定事項について適切に処理されている。 また、市との連絡調整を適宜実施して適正な運営に努めている。	設備、備品等の適切な維持管理及び徹底した新型コロナウイルス感染症対策に努め、利用者に迅速に対応するなど安心できる施設運営に努めている。	予算額と比較して減収となったが、その他の経費の削減等を図り、利用者サービスが低下することなく適切な運営に努めている。	B	指定管理者として、責任感を持って管理運営をしている。 令和4年度は、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響があったものの、規制緩和等の措置に伴い徐々にではあるが利用状況も改善の傾向にあり、利用料金も増収となっている。 一方、エネルギー価格の高騰により支出も増加する中、創意工夫により収支の改善に努めた。 また、施設の管理運営については、施設の老朽化に伴い修繕を要する箇所と費用が年々増加しているが、利用者が安全に利用できるよう対策を講じている。 今後も引き続き適切な施設の維持管理を行うとともに、各種対策を講じた上での文化活動の支援を行うため、これまでの経験等をいかした事業展開を望む。

No.		区分	1 実施体制																			2 内容・水準																						3 収支等					4 総合評価	5 特記事項
			人員体制①	人員体制②	人員体制③	外部委託①	外部委託②	法令等遵守	個人情報保護①	個人情報保護②	情報公開①	情報公開②	管理記録①	管理記録②	連絡調整①	連絡調整②	緊急対応①	緊急対応②	緊急対応③	財務状況	≪1総括≫	施設管理①	施設管理②	利用者対応①	利用者対応②	利用者対応③	事業運営①	事業運営②	事業運営③	維持管理①	維持管理②	維持管理③	維持管理④	環境配慮	広報活動	苦情等対応①	苦情等対応②	利用者アンケート	利用状況	業務の改善性	≪2総括≫	経理事務	予算執行	経費縮減	収支状況	≪3総括≫		評価区分: A＝優良 B＝良好 C＝課題含・多 D＝要改善
13	【施設名】 武蔵村山市民総合センター 精神障害者地域活動支援センター 【指定管理者】 医療法人社団　円祐会	自己評価 (指定管理者)	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	協定に基づき事業を実施した。 「粘土プログラム」の再開、新たに始めた「脳トレ」、食事を交えた行事等を含め、コロナ禍でも人とのつながりを感じられるプログラムや行事などを工夫して行い、参加者は前年度の約2倍となった。 相談事業についても延べ相談件数は前年度を上回った。 今後も、よりニーズにあった居場所の提供や、多岐にわたる相談対応ができるよう関係機関と連携しながら職員のスキルアップを図ることが課題であると考えている。
			必要な資格を有する人員を基準より多く配置し、専門性の高いサービスの提供に努めた。 関係機関との連携は多岐にわたり密に行った。																			新型コロナウイルス感染症の感染対策を継続しサービスの提供を止めることなく実施した。 年末年始等には利用者の立場に立ち、緊急の相談に対応できる体制を取った。																			適正に執行した。								
	【所管部課】 健康福祉部障害福祉課	所管評価 (障害福祉課)	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	—	B	B	B	B	B	B	B	B	新型コロナウイルス感染症の感染対策を十分に講じた上で、中止していたプログラムを再開するとともに、新たなプログラムを開始した。 また、相談事業の利用者も昨年度より増加するなど、福祉の向上に寄与した。 利用者からの苦情や利用者間におけるトラブルもなく、精神障害者及びその家族等の相談窓口、日中活動の場等の役割を十分に果たしており、利用者の緊急的な対応にも当たりながら安定的な運営を図っていた。
			専門性の高い業務において体制が整えられており、おおむね良好である。																			協定書等を遵守し、目立った苦情等もなく、適正な水準を維持している。																			適正に執行されている。								